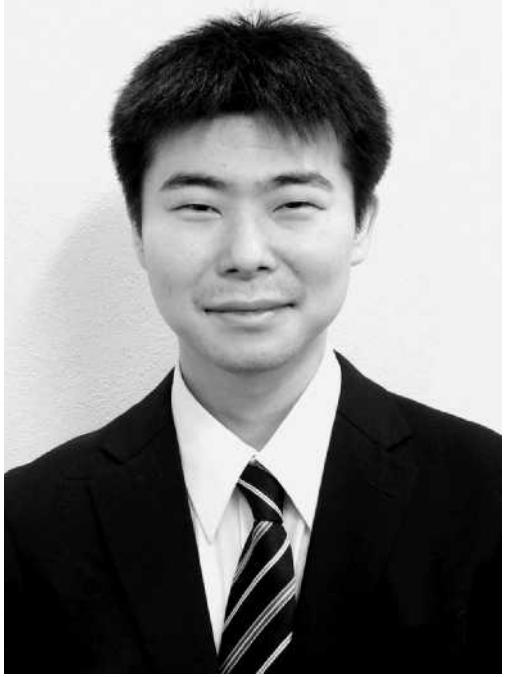


グランプリ東北(CVG東北)

食べ過ぎ、食べ残しを解決する
「満腹チェック」を用いた事業



東北電子専門学校

佐々木 洋輔

最優秀賞

食事量をリアルタイム推定

人間は食事開始から満腹を感じるまで20分のタイムラグが生じる。このタイムラグは食べられる食品が廃棄処分とされ、市場性などについて書かれており、これが社会問題になっているフードロスといふ現象である。

院、高等学校専攻科から30件の応募があった。審査委員長は東北電子専門学校の佐々木洋輔さんによる「食べ過ぎ、食べ残しを解決する『満腹チェック』」を用いた事業に賛成した。

院、ヒアリング、最終審査を経て評価した結果、最優秀賞の蛇名武雄産業技術総合研究所東北センター所長ら8人の審査委員会により厳正に審査された。審査委員長は東北電子専門学校の佐々木洋輔さんによる「食べ過ぎ、食べ残しを解決する『満腹チェック』」を用いた事業に賛成した。

院、ヒアリング、最終審査を経て評価した結果、最優秀賞の蛇名武雄産業技術総合研究所東北センター所長ら8人の審査委員会により厳正に審査された。審査委員長は東北電子専門学校の佐々木洋輔さんによる「食べ過ぎ、食べ残しを解決する『満腹チェック』」を用いた事業に賛成した。

最優秀賞に佐々木洋輔さん

CVG全国大会に出場

東北地域の学生によるビジネスプランコンテスト「第17回キャンパスベンチャーグランプリ(CVG)東北」実行委員会と日刊工業新聞社、東北地区4産業人クラブは、2021年12月17日に仙台市で最終審査会を開き、最優秀賞、特別賞など5件のビジネスプランの入賞を決定した。入賞者には賞状と賞金、記念品が授与される。

ごあいさつ



東北リードする人材へ 成長を期待

今回で17回目を迎えた本格的な学生によるビジネスプランコンテスト「第17回キャンパスベンチャーグランプリ」には、東北各地から計30件の応募をいただきました。コロナ禍において学生の中には、社会の課題解決に役立とうとする志のもと、自ら実証実験を行いました。このような難

す。その中には、社会の課題解決に役立とうとする志のもと、自ら実証実験を行いました。このような難

も力強く感じております。

皆さんに、心からお祝い申します。大都市圏への集中りを申し上げます。

この東北で学生さんが伸びるため、将来的な転換の流れの中にあります。過去に受賞された方々の姿を羨美に描き、未だや地域一体で取り組むべき課題をしっかりと把握し、身近な問題を解決して、多彩なビジネスプランを策定されました。このように、多くの企業が決まり、最優秀賞をはじめ、計5件の入賞者が決定されました。このような難

も力強く感じております。

力があらためて評価されてきました。

このたびの受賞、誠におめでとうございます。

第17回キャンパスベンチャー

審査講評



医学的検証踏まえた起業高く評価

員で期待してお
ります。本当に
おめでとうござ
いました。

CVG東北審査委員会委員長

蛇名 武雄

17回目の開催となるキャンパスベンチャーグランプリ(CVG)東北には30件の意欲溢れる応募があり、前向きな件に対し、12月17日に仙台市でプレゼンによる本審査が行われました。前向きかつ創意工夫がみられた5件に選ばれました。

最優秀賞を選ばれた東北電子専門学校の佐々木洋輔さんの提案は、サステナブルな社会を実現していくため、過食も人種が克服されなければならない大きな課題とどう対応する本審査が行われました。前向きかつ創意工夫がみられた5件に選ばれました。

特に賞には岩手大学の佐藤慎一朗さんと弘前大学の佐藤茂香さんと宮城県仙台市太田涼大の太田湧平さんと宮城県仙台市武内彩恵さんの提案が選ばれました。佐

藤さんは、ビルはその原型デバイスとスマートフォンアプリからなる満腹チェックカードを開発・提案しています。提案内容の独自性だけではなく、東北大学医学部の先生との連携のもと医学的な検証もされています。提案内容は、仙台市でアレンジによる本審査が行われました。前向きかつ創意工夫がみられた5件に選ばれました。

最優秀賞を選ばれた東北

電子専門学校の佐々木洋輔

さんの提案は、サステナブルな社会を実現していくため、過食も人種が克服されなければならない大きな課題とどう対応する本審査が行われました。前向きかつ創意工夫がみられた5件に選ばれました。

特に賞には岩手大学の佐

藤慎一郎さんと弘前大学の佐

藤茂香さんと宮城県仙台市太田涼大の太田湧平さんと宮城県仙台市武内彩恵さんの提案が選ばれました。佐

藤さんは、ビルはその原型デバイスとスマートフォンアプリからなる満腹チェックカードを開発・提案しています。提案内容の独自性だけではなく、東北大学医学部の先生との連携のもと医学的な検証もされています。提案内容は、仙台市でアレンジによる本審査が行われました。前向きかつ創意工夫がみられた5件に選ばれました。

最優秀賞を選ばれた東北

電子専門学校の佐々木洋輔

さんの提案は、サステナブルな社会を実現していくため、過食も人種が克服されなければならない大きな課題とどう対応する本審査が行われました。前向きかつ創意工夫がみられた5件に選ばれました。

特に賞には岩手大学の佐

藤慎一郎さんと弘前大学の佐

藤茂香さんと宮城県仙台市太田涼大の太田湧平さんと宮城県仙台市武内彩恵さんの提案が選ばれました。佐

藤さんは、ビルはその原

型デバイスとスマートフォ

ンアプリからなる満腹チエ

ックカードを開発・提案してい

ます。提案内容の独自性だ

けでなく、東北大学医学部

の先生との連携のもと医学

的な検証もされています。

提案内容は、仙台市でアレ

ンジによる本審査が行われ

ました。

特に賞には岩手大学の佐

藤慎一郎さんと弘前大学の佐

藤茂香さんと宮城県仙台市太田涼大の太田湧平さんと宮城県仙台市武内彩恵さんの提案が選ばれました。佐

藤さんは、ビルはその原

型デバイスとスマートフォ

ンアプリからなる満腹チエ

ックカードを開発・提案してい

ます。提案内容の独自性だ

けでなく、東北大学医学部

の先生との連携のもと医学

的な検証もされています。

提案内容は、仙台市でアレ

ンジによる本審査が行われ

ました。

特に賞には岩手大学の佐

藤慎一郎さんと弘前大学の佐

藤茂香さんと宮城県仙台市太田涼大の太田湧平さんと宮城県仙台市武内彩恵さんの提案が選ばれました。佐

藤さんは、ビルはその原

型デバイスとスマートフォ

ンアプリからなる満腹チエ

ックカードを開発・提案してい

ます。提案内容の独自性だ

けでなく、東北大学医学部

の先生との連携のもと医学

的な検証もされています。

提案内容は、仙台市でアレ

ンジによる本審査が行われ

ました。

特に賞には岩手大学の佐

藤慎一郎さんと弘前大学の佐

藤茂香さんと宮城県仙台市太田涼大の太田湧平さんと宮城県仙台市武内彩恵さんの提案が選ばれました。佐

藤さんは、ビルはその原

型デバイスとスマートフォ

ンアプリからなる満腹チエ

ックカードを開発・提案してい

ます。提案内容の独自性だ

けでなく、東北大学医学部

の先生との連携のもと医学

的な検証もされています。

提案内容は、仙台市でアレ

ンジによる本審査が行われ

ました。

特に賞には岩手大学の佐

藤慎一郎さんと弘前大学の佐

藤茂香さんと宮城県仙台市太田涼大の太田湧平さんと宮城県仙台市武内彩恵さんの提案が選ばれました。佐

藤さんは、ビルはその原

型デバイスとスマートフォ

ンアプリからなる満腹チエ

ックカードを開発・提案してい

ます。提案内容の独自性だ

けでなく、東北大学医学部

の先生との連携のもと医学

的な検証もされています。

提案内容は、仙台市でアレ

ンジによる本審査が行われ

ました。

特に賞には岩手大学の佐

藤慎一郎さんと弘前大学の佐

藤茂香さんと宮城県仙台市太田涼大の太田湧平さんと宮城県仙台市武内彩恵さんの提案が選ばれました。佐

藤さんは、ビルはその原

型デバイスとスマートフォ

ンアプリからなる満腹チエ

ックカードを開発・提案してい

ます。提案内容の独自性だ

けでなく、東北大学医学部

の先生との連携のもと医学

的な検証もされています。

提案内容は、仙台市でアレ

ンジによる本審査が行われ

ました。

特に賞には岩手大学の佐

藤慎一郎さんと弘前大学の佐

藤茂香さんと宮城県仙台市太田涼大の太田湧平さんと宮城県仙台市武内彩恵さんの提案が選ばれました。佐

藤さんは、ビルはその原

型デバイスとスマートフォ

ンアプリからなる満腹チエ

ックカードを開発・提案してい

ます。提案内容の独自性だ

けでなく、東北大学医学部

の先生との連携のもと医学

的な検証もされています。

提案内容は、仙台市でアレ

ンジによる本審査が行われ

ました。

特に賞には岩手大学の佐

藤慎一郎さんと弘前大学の佐

藤茂香さんと宮城県仙台市太田涼大の太田湧平さんと宮城県仙台市武内彩恵さんの提案が選ばれました。佐

藤さんは、ビルはその原

型デバイスとスマートフォ

ンアプリからなる満腹チエ

ックカードを開発・提案してい

ます。提案内容の独自性だ

けでなく、東北大学医学部

の先生との連携のもと医学

的な検証もされています。

提案内容は、仙台市でアレ

ンジによる本審査が行われ

ました。

特に賞には岩手大学の佐

藤慎一郎さんと弘前大学の佐

藤茂香さんと宮城県仙台市太田涼大の太田湧平さんと宮城県仙台市武内彩恵さんの提案が選ばれました。佐

藤さんは、ビルはその原

型デバイスとスマートフォ

ンアプリからなる満腹チエ

ックカードを開発・提案してい

ます。提案内容の独自性だ

けでなく、東北大学医学部

の先生との連携のもと医学

的な検証もされています。

提案内容は、仙台市でアレ

ンジによる本審査が行われ

ました。

特に賞には岩手大学の佐

藤慎一郎さんと弘前大学の佐

藤茂香さんと宮城県仙台市太田涼大の太田湧平さんと宮城県仙台市武内彩恵さんの提案が選ばれました。佐

藤さんは、ビルはその原

型デバイスとスマートフォ

ンアプリからなる満腹チエ

ックカードを開発・提案してい

ます。提案内容の独自性だ

けでなく、東北大学医学部

の先生との連携のもと医学

的な検証もされています。

</div